

# 福祉や医療の充実、地域経済と雇用を守り、「暮らしやすさ」実感できる予算編成を！

## 来年度予算についての要望書を幸山市長に提出

10月26日、日本共産党重松地区委員長と市議団は、幸山市長に、来年度予算編成について、約170項目の要望書を提出し、くらしと福祉を守る予算編成を求めました。

国は消費税増税や年金の引き下げなど、住民へのさらなる負担を強行しようとしています。こうした時だからこそ、熊本市が市民のくらしを守る防波堤の役割を果たすこと求められています。



市長に対し申し入れをする重松地区委員長と市議団

予算要望には幸山市長が対応し、「出された要望については、予算編成に向け精査する」と答えました。

### 防災と安全・安心のまちづくり

- ・ 7.12 豪雨水害については、被災者の生活・住宅再建にむけ、支援制度をより充実させること。
- ・ 立野ダム建設推進の立場を見直し、国に情報公開の徹底を求めるとともに、住民参加による治水対策の検証を行うこと。
- ・ 原発ゼロを国に働きかけるとともに、市としても自然エネルギー推進に積極的に取り組むこと。
- ・ 災害緊急時に対応できる情報発信の設備を市全域に整備すること。

### 保険・福祉分野

- ・ 国保料の引き下げなど安心して医療を受けることができるよう国民健康保険の改善を図ること。
- ・ 介護保険料の引き下げや減免制度の充実、特別養護老人ホームなど施設整備と増設、ホームヘルパーによる生活援助時間の機械的な短縮を行わないこと。
- ・ さくらカードの利用者負担を無料にすること。
- ・ 市税・保険料・保育料・医療費窓口負担などの減免制度を広く市民に知らせ、減免制度の利活用を促進すること。

### 政令市・まちづくりなど

- ・ 「龍田出張所」を総合出張所に拡充すること。
- ・ 合併特例区は廃止すること。
- ・ 3000人規模の国際会議場建設を見直すこと。
- ・ ゆきづまった花畑町再開発計画は見直し、産文会館については、改修し、利活用すること。
- ・ 駐輪場有料化を見直すと同時に、自転車利用促進を図ること。
- ・ 住宅リフォーム助成事業を創設し、地域経済の活性化を図ること。



※そのほか、農業政策、環境、行財政改革などについても要望しました。全文は、市議団ホームページからご覧いただけます。

### 子育て・教育分野



- ・ 少人数学級を全ての学級に。
- ・ 奨学金制度を拡充するとともに、給付型奨学金の創設を。
- ・ 保育料の軽減、認可外保育所への助成拡充を。
- ・ 子ども医療費助成については、自己負担の撤廃と中学3年までの拡充を。

幸山市長：貧困対策、憲法の平和条項の大切さに言及  
 予算要望のやりとりのなかで幸山市長は「現在、最低限度の生活を送ることができない方もいる中で、なんらかの対策を講じる必要がある」「戦争を二度と繰り返さないということからも、憲法を大切にしなければ」など、貧困への課題や憲法についての思いなどにも言及しました。

(控室から) 益田牧子  
 今、守るべきものは命  
 毎日の生活相談で、市民生活の一段の困窮さを実感しています。Aさん50歳代・男性は、知人の紹介で奥さんが相談に来られました。Aさんは、失業中で、高血圧治療を中断。3日前に、右半身の感覚がマヒし受診。脳出血を起して、入院したものの、その日のうちに退院し、自宅療養中とのこと。さっそく、自宅にAさんを訪問しました。血圧を測ると、上が215と下が137。「体がふわふわし、右手には、力が入らない。退院したことを後悔している」とのことでした。さっそく、無料低額医療を行っているくわみず病院を紹介し、入院となりました。昼は清掃、夜もアルバイトで働く奥さんを気遣い、「迷惑はかけられない」と、退院されたとのことでした。仕事があり、収入が安定しておれば、きちんと治療を受けることができ、脳出血も起こさずに済んだのではないかと思います。  
 貧困ゆえの、病気の悪化です。相次ぐ「医療費が負担できない」との相談に、「命(ぬち)どう宝」、何よりも、命を最優先にする「政治への転換を」との思いを強くしています。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 824

2012年11月4日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.jcp-kumamoto.com/

## 議会運営委員会行政視察報告～日本共産党市議会議員 益田牧子

# 議会改革の目的は「市民参加」「市民に開かれた議会」

議会運営委員会は、10月23日～25日、大東市議会、名古屋市議会、神戸市議会を「議会改革」を中心に視察を行い、益田牧子議員が参加しました。いずれも、「いかに市民の声を議会に反映するか」を検討し、実践されていました。特に印象的だったのは、2元代表制を踏みにじる河村市長の下での、名古屋市議会の取り組みでした。大東市議会は、日本共産党議席は17名中3議席(占有率18%)で、「改革」を進めていました。視察を活かし、諦めないで、熊本市議会での改革に取り組みます。以下に主な議会改革の取り組みを紹介します。

### 大東市議会～日曜・夜間議会など市民参加を実践

議会基本条例は、様々な「議会活性化」の取り組みを実践し、1年近い議会での協議・勉強会、パブリックコメントを経て、11年3月議会で成立しています。

13回当選のベテラン議長の下で、良

いことは、何でも実践しようと市民に開かれた議会改革が進んでいました。

熊本市議会では、本会議や委員会での「パネル持ち込み」まで禁止事項となりましたが、パワーポイントを取り入れた審議が行われており意を強くしました。

#### 【主な議会改革項目】

- \* 日曜・夜間議会の開催(2000年～年それぞれ1回)
- \* 議場を市民に公開・議場コンサート・講演会(04年～年3回)
- \* 現場に出かけ、意見を聞く「出前委員会」(07年～5回の実績)
- \* 出前議会報告会3か所：会派担当制で実施、5会派から1名報告(09年～)
- \* 出前政策意見懇談会：11年10月1日(土)夜に区長会、連合婦人会、商工会議所、文化協会、体育協会、青年会議所などが意見表明、参加者80名
- \* 議会傍聴に市内の66団体を招待
- \* 市議会市民レポーターの設置(各会派の推薦)



神戸市議会での対面発言台

### 神戸市議会～通年議会へ

議会基本条例は、11年7月から、13回会派代表による協議、パブリックコメントを経て、制定されています。2会期制を採用し、12年3月議会から、本会議場に対面型の発言席を設置し、一問一答方式が採用されています。熊本市議会でも、ぜひ実現したいものです。

### 名古屋市議会～市民参加演説制度など議会改革

河村市長提案による「議員歳費半減、議員数削減」などの2元代表制を踏みにじる名古屋市議会。名古屋市議会は、議会の役割を明記した議会基本条例を2010年3月議会で制定しています。09年12月から、学識経験者による講演会や勉強会、先進地調査、9回の研究会、3分科会(わかりやすい

議会、議会の機能と位置づけ、政策提言・立案機能)での各4回の論議を重ね、市民意見の聴取を経て、全会一致で成立しています。図書室も、市民への貸し出しが実現しています。(議会前7日～開催中は中止)12年1月に、「議会改革推進会議」を設置し、更なる改革の検討が進められています。

#### 【主な議会改革項目】

- \* 3分間議会演説：各常任委員会で市民7人までOK(10年2月議会～)
- \* 議長・副議長選挙での所信表明演説(12年3月議会～)
- \* 議会だよりへの全議員名をいれた賛否表を掲載(11年3月議会～)
- \* 議会報告会の開催(10年4月に開催、12年6月、11月にモデル実施)
- \* 議長・副議長による定例議会の前・後の記者会見(10年6月～)
- \* 委員会のインターネット中継(11年3月～)
- \* 委員会での委員間での討議(11年3月～)